

# 名所や歴史スポット紹介

## 筑西市 散策用に観光マップ

筑西市内の名所旧跡や歴史スポットなどを紹介した観光ガイドマップ「ちくせい魅力散策マップ」が完成した。

来訪者に市内を散策するのにも利用してもらおうと市が製作した。監修した「ちくせい観光ボランティアガイド協会」の諏訪光一会長は「近年は年間千人ほどを案内しており、使いやすいものをと内容を充実させた」とPRしている。



筑西市内の散策用に新たに作られた観光ガイドマップ。同市役所

マップは「歴史と文化の街めぐり編」「下館祇園まつりと社寺城跡編」「小栗判官と内外大神宮編」「明野ひまわりの里編」「梨の里関城と史跡めぐり編」の5種類があり、市内をエリアやテーマごとに分けた。それぞれ

れ1万部ずつ作り、公共施設や店舗などで配布するほか、同協会の観光ガイドも使う。今年6月ごろから同協会のメンバーらが編集作業を始め、完成にこぎ着けた。来年2月には完成記念の公募観光ツアーも開催予定という。

須藤茂市長は「市としてももっと観光PRに力を入れたい」と話した。







# ちくせい

CHIKUSEI

## 魅力散策MAP

～下館祇園まつりと社寺城跡編～



茨城県筑西市

※茨城県筑西市は、平成17年(2005年)3月に下館市・関城町・明野町・協和町が合併して誕生した都市です。





- 七羽黒 神社巡りコース**
- 1 上羽黒神社
  - 2 外塚羽黒神社
  - 3 下岡崎羽黒神社
  - 4 竹島神社
  - 5 大根田羽黒神社
  - 6 〇戸羽黒神社
  - 7 下羽黒神社



**七羽黒 鬼門**

おねだはぐろじんじや  
**大根田羽黒神社**  
久下田城の鬼門にあたる大根田の羽黒神社。  
住所: 栃木県真岡市大根田地内

くげたじょうあと  
**久下田城跡**  
栃木県との県境に位置する城跡。天文14年(1545年)、第6代下館城主であった水谷政村(蟠龍齋)が、宇都宮氏の来襲に備えて築城。下館の支城とし、小栗・小田・北条・海老ヶ島を攻略する基点とした。現在、城跡公園(二の丸)、空濠などが残っている。  
住所: 筑西市樋口267ほか

だてゆきともこうとう  
**伊達行朝公塔**  
伊達行朝は南北朝時代の武将。南朝方につくため伊達郡赤館(福島県)から一族の出身である伊佐城に来て、足利尊氏率いる北朝方と戦うも陥落。その後、観音寺境内に行朝の供養塔が建立された。  
住所: 筑西市中館522-1ほか

たけしまじんじや  
**竹島神社**  
下館城の鬼門にあたる稲野辺に建てられた羽黒神社。明治時代、近隣の神社と共に竹島神社に合祀された(竹島神社の所在地は市野辺)七羽黒で唯一、羽黒神社としては存在していない神社。  
住所: 筑西市市野辺地内

しもおさきはぐろじんじや  
**下岡崎羽黒神社**  
下館城の風門にあたる下岡崎の羽黒神社。下羽黒・上羽黒に次ぐ規模を誇る。本殿・拜殿は昭和31年(1956年)4月、鷹場町の大火で焼失したが、同年11月に再建。なお、境内には「願掛石」があり、夜半人に知られず持ち上げて願をかけると成就するといわれている。  
住所: 筑西市下岡崎3-1-7

らいじんじや  
**雷神社**  
寛治元年(1087年)創建。後三年の役の際、源義家が当地で休憩し社(やしろ)を建立、凱旋の報告をしたのが始まりと言われる。のちに水谷政村(蟠龍齋)の祈願所となった。本殿・幣殿・拜殿が市の文化財に指定されている。  
住所: 筑西市樋口407ほか

かんのみじ  
**観音寺**  
筑波山を望む中館台地にあり勤行川に沿う一帯は、雪に桜にと風趣に富み、茨城百景に指定されている。御本尊は木造観音菩薩立像(国指定重要文化財)。伊佐城跡でもあり、狩野探幽の墨絵他、数々の貴重な文化財がある。  
住所: 筑西市中館522-1ほか

いさじょうあと  
**伊佐城跡**  
仙台伊達家の祖・伊達朝宗(ともむね)の先祖 伊佐実宗(さねむね)が興した城。後に、子孫の一部は福島県の伊達郡に移り伊達氏を名乗る。(後の伊達政宗が仙台城を築いた。)南北朝時代、伊達行朝(ゆきとも)が南朝方を助けて足利軍と戦うも落城した。観音寺本堂裏に行朝の供養塔が、二の丸跡といわれる境内には城跡石碑がある。県指定文化財  
住所: 筑西市中館522-1ほか

しもはぐろじんじや (はぐろじんじや)  
**下羽黒神社 (羽黒神社)**  
文明10年(1478年)、初代 水谷勝氏が下館城を築いた際、領内安堵を願って出羽(山形県)の羽黒大神を勧請。また下館城の鬼門・風門・病門・天門にもそれぞれ神社を設け、合わせて五羽黒神社が建立された。その後、6代 政村(蟠龍齋)が久下田城を築城した際、更に2つが建てられ七羽黒となった。  
住所: 筑西市甲37

**下館の礎を築いた水谷氏と七羽黒神社**  
水谷氏は、藤原秀郷の子孫である藤原景頼から出たと言われています。室町時代、水谷氏は陸奥国岩城郡水谷(現在のいわき市)から結城に入り、結城四天王の一人として活躍しました。後の文明10年(1478年)に下館城築城を許されます。初代水谷勝氏は下館城を守る為、5つの羽黒神社を建立しました。また、6代政村(蟠龍齋)は宇都宮氏に備えて久下田城を築き、周りに2つの羽黒神社を建立しています。これが現在も残る七羽黒神社です。また、水谷氏は東京上野の不忍池弁天堂、下館における妙西寺、定林寺の建立を行い、岡山県高梁に移封後は、備中松山城の築城、さらに定林寺、羽黒神社を下館から勧請し、玉島においては大干拓事業(約700町歩)を実施しました。現在、筑西市と高梁市は友好都市となり盛んに交流しています。

じょうりんじ  
**定林寺**  
水谷氏代々の菩提寺。7代勝後が寄進した梵鐘に「下館」の文字あり。鎌倉時代の板碑もあり。8代勝隆は上野不忍池に弁天堂を造営し、幕府の命で備中(後の岡山県高梁市)へ移封。現在、高梁市は友好都市となっている。  
住所: 筑西市岡芹957

かみはぐろじんじや  
**上羽黒神社**  
下館城の天門にあたる岡芹の羽黒神社。下羽黒神社に対して、上羽黒神社と呼ばれている。下羽黒神社に奉納されたもの対になる奉納絵馬がある。(本殿と拜殿、絵馬は県指定文化財)  
住所: 筑西市岡芹968-1

しもだてじょうあと  
**下館城跡**  
現在の下館小学校敷地が城の中心であった。平安時代に藤原魚名が館を築き、初代水谷勝氏によって本格的に築城が始められ、3代勝之の時に完成した。城跡には八幡神社があり、享保17年(1732年)伊勢国より移封された清和源氏の石川氏が建立し現在に至る。境内には明治維新の先駆けとなった従四位上伊与作の顕彰碑がある。伊与作は明治天皇の叔父である中山忠光、吉村虎太郎らと共に兵を進めた国士である。

とのかきはぐろじんじや  
**外塚羽黒神社**  
下館城の病門(裏鬼門)にあたる外塚の羽黒神社。境内には、櫻様、厄除様、八坂様など5つの末社が祀られている。以前は境内が舟の形をしており、「舟羽黒」とも呼ばれていたが、昭和55年(1980年)に区画整理によって現在地に移された。  
住所: 筑西市外塚183

みょうさいじ  
**妙西寺**  
天正14年(1586年)、6代水谷政村(蟠龍齋)が母(法名: 禅雲院殿蓮室妙西大姉)の冥福を祈り開山した寺。  
住所: 筑西市乙657

**鮭の遡上**  
毎年秋には川を力強く泳ぐ鮭の姿が見られる。  
見頃: 11月上旬~12月上旬  
場所: 勤行川沿い各所

しもおさきはぐろじんじや  
**下岡崎羽黒神社**  
下館城の風門にあたる下岡崎の羽黒神社。下羽黒・上羽黒に次ぐ規模を誇る。本殿・拜殿は昭和31年(1956年)4月、鷹場町の大火で焼失したが、同年11月に再建。なお、境内には「願掛石」があり、夜半人に知られず持ち上げて願をかけると成就するといわれている。  
住所: 筑西市下岡崎3-1-7





筑西市の  
まつり

# 下館祇園まつり

## 伊達氏のルーツ下館・祇園まつりのおこり

平安時代末期、藤原実宗が常陸介に任命され伊佐荘に着任。実宗から数えて5代目の伊佐朝宗（後の伊達朝宗）は、源頼朝の奥州征伐に4人の子供と共に参加。功績をあげ褒美として伊達郡（福島県）を得、二男宗村が伊達家を継ぎました。

南北朝時代、伊達郡赤館に居住していた7代目の伊達行朝（伊達とも）は、伊佐城主 伊佐太郎とともども伊佐城を拠点とし、足利軍と戦い歴史上にその名を馳せました。その子孫である伊達政宗は、慶長8年（1603年）年徳川家康が江戸に幕府を開いた年に居城を仙台に移し、仙台藩主となります。以後、明治維新に到るまで仙台伊達家は青葉城にて62万石を治めました。

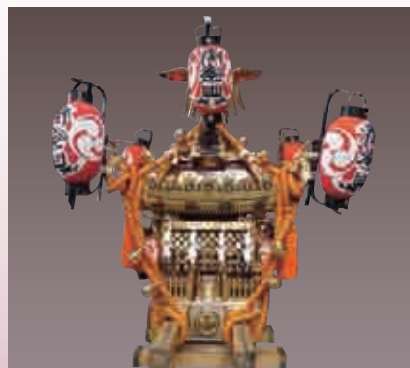
羽黒神社には2基の大神輿があります。1基は明治28年に造られた明治神輿でもう1基は平成4年に造られた平成神輿です。このうち、明治神輿は伊達家の子孫と下館の有志で造られたと伝えられています。下館祇園まつりは、この大神輿を中心に30数基の子ども神輿が勢揃いする関東有数の盛大な祭りとして開催されています。



明治神輿



平成神輿



女子神輿

明治28年に日清戦争の戦勝記念として造られたもので、神輿の胴の上部に日章旗と軍艦旗の彫り物があるのが特色。重さ1トンで北関東一の大神輿と言われていました。平成22年に平成の大修復が完了し、美しい姿を取り戻しました。

平成4年に造られたもので、二重高欄、階付きで、屋根や台輪などの漆部分は、貝の殻を混ぜた螺鈿塗り。また、胴の上の周囲には12支の彫り物があります。重さ約2トンで、毎年担ぐ神輿としては日本一と言われています。

昭和52年に造られた女性のみで担ぐ神輿。男衆の担ぐ勇壮な大神輿2基と、女性の肩に揺られる艶やかな女子神輿の優雅さとのコントラストが見事です。明治・平成2基の大神輿と合わせ、羽黒神社が所有しています。

神輿は3基ともアルテリオ1F郷土芸能コーナーにて常設展示しています。しもだて地域交流センター アルテリオ（月曜・年末年始は休館）

## 下館祇園まつり

**開催期間** 7月最終週の木曜日から4日間（※開催期間が8月にまたがる場合には、前週の木曜日から4日間）  
※最終日は朝のみ（川渡御）  
木～土曜日18:00～22:00 日曜日6:00～9:00

**場所** 下館駅前及び  
下館駅前通り 他  
大橋（最終日）





## 交通のご案内



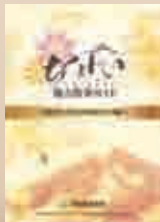
## 筑西市 観光・イベントカレンダー

4月上旬	明野薪能
4月中旬	小栗内外大神宮太々神楽
7月下旬	下館祇園まつり
8月下旬	どすこいペア
8月下旬～9月上旬	あけのひまわりフェスティバル
10月下旬(10月28日前後)	ダイヤモンド筑波
11月上旬	小栗内外大神宮太々神楽
12月上旬	小栗判官まつり
2月中旬(2月14日前後)	ダイヤモンド筑波

**鉄道** JR水戸線・水戸駅より下館駅まで 約60分  
JR宇都宮線・小山駅より下館駅まで 約20分  
関東鉄道常総線・取手駅より下館駅まで 約80分

**車** 常磐自動車道・谷和原インターから国道294号で約60分  
北関東自動車道・桜川筑西インターから国道50号で約20分  
北関東自動車道・真岡インターから国道294号で約30分

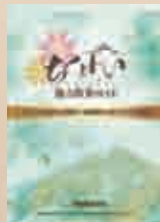
他の「ちくせい魅力散策MAP」は筑西市観光協会HPからダウンロードできます。



歴史と文化の街めぐり編



梨の里「関城」と史跡めぐり編



文化と自然を満喫する明野ひまわりの里編



小栗判官と内外大神宮編



### 筑西市マスコットキャラクター

# ちくん

### プロフィール

- 名前 / ちくん
- 性別 / 男の子
- 性格 / 明るく元気いっぱい  
親しみやすい性格  
誰とでもすぐ仲良くなる

### 【ダイヤモンド筑波】

年に2回、早朝に見られる特別な景色  
日時:10月28日前後、2月14日前後  
場所:母子島遊水地

### 【真岡鐵道SL運行】

毎週土曜・日曜・祝日  
下館駅～茂木駅まで(1日1往復)



## 筑西市役所・商工観光課

〒308-0031 茨城県筑西市丙360 筑西市役所 スピカ分庁舎

TEL.0296-20-1160

筑西市HP

<http://www.city.chikusei.lg.jp>

FAX.0296-20-1186

観光協会HP

<http://www.chikuseikanko.jp>